

平成27年度 学校評価実施報告書

学校名(西陵中学校)

1 平成27年度 重点評価項目

1. 確かな学力の育成(グループ学習と言語活動によるねらいの達成)	2. 豊かな心の育成(自尊感情豊かな生徒の育成)
3. 健やかな体の育成(必要な知識と態度の育成)	

2 1回目評価

分野	評価項目	自校の取組	アンケート項目・各種指標	アンケート結果・各種指標結果	自己評価		学校関係者評価		
					評価日	平成27年10月16日	評価日	平成27年10月20日	
・重点評価項目について評価・改善していくための個別評価項目の設定 ・各項目にねらいを定めた取組の計画・実施 ・取組結果を検証するためのアンケート項目や各種指標の設定					・アンケート実施結果、その他指標の結果について整理		評価者(いずれかに○) 学校運営協議会 学校評議員		
					分析(成果と課題)	自己評価に対する改善策	学校関係者評価による意見	学校運営協議会・学校評議員による改善に向けた支援等	
1	確かな学力	思考力・判断力・表現力の育成	グループ学習と言語活動の活用 まとめと振り返りの徹底	グループ学習が効果的だと感じましたか 授業の中で言語活動が取り入れられていましたか	グループ学習で72%が、言語活動については76.5%がそう思う・やや思うと回答	読書について昨年度のアンケートでは20%に満たなかったが、今回のアンケートでは大きくポイントが伸びている。しかし生徒アンケートの結果では、上級生になるにつれ「読まない」という生徒が少なくなっており、本を読む生徒が増えたことは事実と捉えることはできるが、生徒全体で考えると45%程度にとどまると思われる。	現在の朝読書の取組を継続発展させるとともに、授業内での言語活動の質を高めていく授業改善と共に、家庭学習課題においても工夫する。	今の子ども達は何でもすぐにスマホで調べれば答えがわかる時代になったのに、本なんて読むのだろうか？という疑問が非常に大きい。大人でも新聞を購読している人が減っていると思う。大人が読んでいる場面を見て、子どもが興味を持ち真似をし活字を読むという入口になっていたと思うが今はそれも難しい。	今の子ども達が読むかどうかはわからないが、地域から本を集められるのではないかと。
		読書活動の習慣化	朝読書の継続実施と図書室活用授業の展開	生徒に読書する姿が見られますか	61%の保護者がそう思う・やや思うと回答				
		家庭学習の充実	基礎学力の定着を目指した家庭学習課題の活用	家庭学習は十分ですか	57.4%の保護者がそう思う・やや思うと回答				
2	豊かな心	規範意識の育成	「挨拶・時間・清掃」を指導の3原則と位置づけ	生徒の挨拶はしっかり出来ていますか 家庭での約束やルールは守れていますか	挨拶について88%、約束については74%の保護者がそう思う・やや思うと回答	学年行事や学校祭を含む生徒会行事に於いても、事前学習から生徒が考え計画する場面が増え、活動内容や発表、また鑑賞態度にも成長の様子がうかがえる。	学校での教育活動すべてに於いて、グループでの活動や言語活動を深めていくことで、生徒の手に運営をゆだねられる場面が増え、生徒のさらなる成長につながる。	挨拶をきちんとしてくれる子供も増え、落ち着いた印象が強い。文化祭や体育祭を見て子どもが一生懸命取り組んでいることが伝わり、大変良かった。しかし生徒が減りやほり少しさみしくなったと感じることもある。	地域で子どもを育てるといことを、地域でアピールしていくことが大切。
		生徒会活動の活性化	学校行事を創ることを通して豊かな心を育成する	生徒に十分な説明をする力が身についていますか	67%の保護者がそう思う・やや思うと回答				
		人権に対する意識の向上	心を育てる人権教育の計画的実施	生徒に自ら解決しようとする態度が見られますか	83.1%の保護者がそう思う・やや思うと回答				
3	健やかな体	基本的な生活習慣の確立	生徒・保護者への啓発活動の充実	起床・就寝など時間を守る態度は見についてきましたか	62%の保護者がそう思う・やや思うと回答	生徒アンケートでは、学年が上がるにつれ寝る時間・起きる時間が遅くなっている。朝食を毎日食べると答えた生徒は、2・3年生は8割を超えているが1年生だけが7割未満であり気になる。	保健室前に身長計と体重計を常設しているが、休憩時間に測定している生徒も多い。目に見える数値だけでなく、健康に対する知識を高める啓発をさらに進める。	部活動に一生懸命取り組む姿を観ると、子供の間にスポーツを通してある程度の厳しさを経験し、我慢することやみんなで協力し乗り越えようとするのが大切だと感じるし必要だと思う。	専門の指導者が不足しているという話だが、地域にも競技の知識を持った方もおられると思うので、そういう方に協力してもらおうのも一つの方法だと思う。
		健康に対する意識の向上	委員会活動の活性化と防煙・薬物・非行など各教室の活用	生徒に健康を意識した態度が見られますか	68%の保護者がそう思う・やや思うと回答				
4	独自の取組	小中一貫教育の推進	小中で継続した学習規律の推進 小中合同授業研修会の実施	小中連携主任による合同研修会の計画	小中が交流できる授業研究を年5回設定。	小中連携主任会での計画により、中学校入学後もグループ学習や言語活動を意識した授業が、継続して行える自然な流れができた。	今後の小中連携について「読書」について考えて行くことも必要であると考えられる。小中と連続して本を読むことを継続する取り組みを推進する。	地域の行事などを見ていると、上手に小さな子の面倒を見ている生徒もいるし、手伝いをしてくれる中学生も増えているのではないかとと思う。	地域行事で、中学生が活躍できる場所を提供していきたい。